

‘住吉さんの祭礼’ってなあに？

戦国時代から江戸時代のはじめ（約400年前）、梅雨や夏にはものすごく伝せん病が流行りました。住吉(すみよし)のお祭りは、大さかの町全体を清めるための「お祓(はら)い祭り」。住吉(すみよし)大社から堺(さかい)の宿院御旅所(おたびじょ)まで神輿(みこし)がわたり、堺(さかい)の町人たちによる南蛮(ばん)人の仮装(かそう)や戦国武将(ぶしょう)の母衣武者(ほろむしゃ)などがにぎやかにパレードします。

